

川治ダムの貯水量が回復しました。

平成29年4月7日(金)16時より4月18日(火)11時まで鬼怒川上流ダム群連携施設等の稼働により、川治ダム貯水率が導水前76%から94%となりました。

■導水量: 552万 m^3

川治ダム貯水率: 76%(4月 7日0時)

94%(4月 18日0時)

※なお、河川等からの流入による回復も含まれます。



川治ダム(撮影 平成29年4月19日)

鬼怒川上流ダム群連携施設

鬼怒川上流ダム群連携とは、栃木県日光市川治温泉川治地先に設置されている五十里ダムと川治ダムをネットワークすることで、以下のようなしくみ、目的をもっています。

連携のしくみ

河川の流入量と貯水能力の関係が、正反対な二つのダムは、それぞれ補完しあうことによって大切な水を上手に有効利用することができます。



① 返送ポンプ



② 導水トンネル



③ 導水ポンプ

